

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2002-253572(P2002-253572A)

【公開日】平成14年9月10日(2002.9.10)

【出願番号】特願2001-56024(P2001-56024)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 18/20

A 6 1 N 5/06

H 0 1 S 3/10

【F I】

A 6 1 B 17/36 3 5 0

A 6 1 N 5/06 E

H 0 1 S 3/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月16日(2004.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療用レーザ光源からのレーザ光を治療部位に照射するレーザ治療装置において、レーザ光を治療部位上で走査する走査ミラーを持つレーザ走査光学系を内部に有するハンドピースと、該ハンドピースに治療レーザ光源からのレーザ光を導光する導光光学系と、前記走査ミラーを駆動する駆動制御手段と、前記走査ミラーで反射されたレーザ光の出力を検出する出射側検出センサであって、走査ミラーの走査可能なレーザ光路でかつ治療部位上へレーザ光を走査するときの走査光路外にて前記ハンドピースに配置された出射側検出センサと、を備えることを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項2】

請求項1のレーザ治療装置において、装置の操作信号を入力する入力手段を備え、前記駆動制御手段は前記操作信号の入力に基づいてレーザ光が前記出射側検出センサに向かうように前記走査ミラーを駆動制御することを特徴とするレーザ治療装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 治療用レーザ光源からのレーザ光を治療部位に照射するレーザ治療装置において、レーザ光を治療部位上で走査する走査ミラーを持つレーザ走査光学系を内部に有するハンドピースと、該ハンドピースに治療レーザ光源からのレーザ光を導光する導光光学系と、前記走査ミラーを駆動する駆動制御手段と、前記走査ミラーで反射されたレーザ光の出力を検出する出射側検出センサであって、走査ミラーの走査可能なレーザ光路でかつ治療部位上へレーザ光を走査するときの走査光路外にて前記ハンドピースに配置された出射側検出センサと、を備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(2) (1)のレーザ治療装置において、装置の操作信号を入力する入力手段を備え、前記駆動制御手段は前記操作信号の入力に基づいてレーザ光が前記出射側検出センサに向かうように前記走査ミラーを駆動制御することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】